

たまぐすぐロゲイニング				
基本情報	人数	1チーム2~5名(引率除く)	対象	小学3年生~
	引率者	・グループに各1人 ・本部役(緊急時対応)1~2人	場所	玉城地域全域
	活動全体で必要な時間	約210分~ 約290分	体験時間	約120分~ 約210分
	※活動全体で必要な時間は、説明、時間差出発、表彰、振り返りなどを含めた目安時間			
概要	<p>ロゲイニングとは、スタート前に通過ポイントの書かれた地図が配布され、地図をもとに制限時間内にいかにポイントを効率的に回って競う競技である。このプログラムでは通過ポイントで指定のポーズで写真を撮って回る。</p> <p>南城市玉城エリアの史跡などを巡るロゲイニングコースマップを活用し、グループ単位で知力、体力、チーム力を競いながら、集落・史跡の風土・文化を感じるプログラムとなっている。</p>			
ねらい	<p>①コミュニケーション、協力、戦略、達成感 ②自然や文化への関心の促進</p>			
準備	施設が準備・貸し出しするもの	団体が準備するもの		
	<input type="checkbox"/> チームごとに <input type="checkbox"/> ルールブック <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> 写真見本表 <input type="checkbox"/> 反射着(3枚まで)	<input type="checkbox"/> 緊急時名簿 <input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> 虫よけ(必要に応じて) <input type="checkbox"/> 熱中症対策 <input type="checkbox"/> デジタルカメラまたはスマートフォン(グループ1台) <input type="checkbox"/> 反射着・反射タスキ <input type="checkbox"/> 水筒、タオル、着替え、動きやすい服装、運動靴、帽子、雨具(カッパ)		

遊び方・ルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタート地点とゴール地点は同じです。</li> <li>基準となる時計は、待機する本部役の時計とする。</li> <li>スタート前に、全部で30か所のチェックポイントを示した地図と、写真見本表を配布します。</li> <li>チェックポイントをまわる順番やどのチェックポイントに行くかどうかは各チームの自由です。また、すべてのチェックポイントをまわる必要はありません。制限時間内に、メンバーの体力にあわせてチェックポイントをまわって下さい。</li> <li>行動はメンバーが常に一緒にやって下さい。メンバーがバラバラに別々のチェックポイントを取りに行ったり、特定のメンバーだけがチェックポイントを行ったりする単独行動はルール違反となります。</li> <li>チェックポイントの通過証明は、その場所でデジタルカメラまたはカメラ付き携帯電話で写真を撮ってくることによって通過証明とします。写真は全部、1台のカメラに収めてください。</li> <li>各チェックポイントでは、撮影者以外の全員で写真見本表と同じようなポーズ&amp;アングルで写真を撮影してください。 ただし、チェックポイントで写真を撮る際に、住民や観光客の方がいて同じような写真が撮れない場合は、そのチェックポイントと判断可能な写真を撮ればOKとします。</li> <li>制限時間に遅刻してゴールしたチームは100点の減点、さらに2分ごとに100点の減点とします</li> <li>制限時間を15分以上遅刻したグループは、失格となります。</li> </ul>
注意事項・備考	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エリア内には、交通量の多い道路が多数含まれています。道路横断の際は歩道や横断歩道を利用し、必ず交通ルールを守るようにして下さい。</li> <li>道路が濡れていますと、予想以上に滑ります。特に坂道やデコボコの石畳を通行する際は、十分注意して下さい。</li> <li>参加者は自己の責任において安全・体調を管理し、事故の発生もしくは体調が悪くなった場合には、必ず待機本部役へ連絡・相談して下さい。</li> <li>本プログラムは地元の方の理解の上で成り立っています。ゴミの持ち帰りはもちろんのこと、地元の方への挨拶など、気持ちよくフィールドを使わせていただきましょう。</li> </ul> <p>【雨天時の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>途中で雨が降ってきた場合も、特別の事情がない限り継続します。ただし、チームや団体の判断で途中棄権も認めます。</li> <li>天候悪化の場合には、途中であっても職員の判断で中止する場合があります。</li> </ul>